

減災ニュース

和田三丁目東町会

減災プロジェクトチーム 情報Ⅴ

北区上十条五丁目町会の初期消火訓練見学

5/16 付け読売新聞で、北区上十条五丁目町会がスタンドパイプを使った消火訓練を行っているという記事を見て、さっそく見学してきました。

上十条五丁目町会について

総世帯数 1500 とほぼ当町会並みの規模ですが、町並みは木造住宅が密集しており、道路も狭いため、地域住民による自主消火訓練活動を町会指導のもとに積極的に行っています。

スタンドパイプについて

長さ 1 m ほどのパイプで、道路の黄色く縁取りされたマンホールの中の消火栓にワンタッチで接続し、消防ホースをつなげば水圧で放水できる（消防ポンプ不要）ため、初期消火には非常に簡便かつ有効なツールであるといえます。

初期消火態勢作り

上十条五丁目町会ではこのスタンドパイプを 6 本を配備しており、スタンドパイプの保管場所や消火栓、消火器 150 本の位置を記載した防災マップを作成し全戸に配布し、火事に気付いた人がすぐ消火にあたる態勢作りが進められています。また、スタンドパイプを使った消火訓練を 2 ヶ月に 1 回、各消火栓を巡回して近隣住民へ実施しており、スタンドパイプを扱える人数を少しでも多くしようと地道な努力が重ねられているなどという印象でした。

総括

上十条五丁目町会の活動は当町会の今後の防災活動に大変参考になるものでした。当町会でも 9 月 5 日の役員会で防災計画が上梓され、消火隊の設立、防災マップ作成等が承認されましたので、**消火隊を中心とした防災訓練を積極的に進めていく予定です。**当町会が使用可能なスタンドパイプは高南中学校震災救援所に 1 本が配備されています。

以上



上十条五丁目町会消火隊

